

2013年9月期 第1四半期 決算説明資料

2013年2月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

2013年9月期 第1四半期 業績(連結)

(単位：百万円)	2012年9月期 第1四半期	2013年9月期 第1四半期	前年同期比	2012年9月期 通期実績値
売上高	721	243	△478	2,038
売上総利益	318	208	△110	908
営業利益	△134	△249	△115	△974
経常利益	△134	△217	△82	△915
四半期(当期)純利益	△129	△148	△18	△1,274

✓ 一般的な営業・決算概況

- ✓ 投資先企業の売却などの大型案件は、当第1四半期においては見送り。開発型流動化や再生可能エネルギー関連のアレンジは組成に向けて取組み継続中のため、投資銀行事業とプリンシパルインベストメント事業の実績数値は低調に終わるが、新規事業立ち上げに向け、並行して多くの案件を推進。【(例)フィンランドの投資銀行Septem社と業務提携。クロスボーダー事業を積極推進。】
- ✓ フィンテックアセットマネジメントは、中堅老舗企業の事業承継に係り、外部投資家を招聘し、ファンドのGPとしてFGIグループの資金と合わせて共同投資。第2四半期で投資収益を計上予定。不動産アセットマネジメントも受託資産残高を積み増し。

✓ グループ再編

- ✓ パブリック・マネジメント・コンサルティングは、事業の一部譲渡及び業務提携により、公会計コンサルティング事業に注力。原価低減により、通期で営業黒字化に目処。特別利益として事業譲渡益66百万円を計上。
- ✓ FINTECH GIMV FUND,L.P.について、実質的な支配関係がなくなり子会社に該当しないと判断し、連結の範囲から除外。当第1四半期より、外部出資者分が連結財務諸表に反映されず、当社出資持分相当額のみを計上。
- ✓ 第1四半期後(2013年1月28日)、フィンテックグローバル証券(FGS)の全株式の譲渡を決議。FGSの投資銀行事業はFGIに移管しており、今後はプリンシパルインベストメント事業とより密接に連携して展開。第2四半期に特別利益約40百万円を計上予定。

セグメント別業績

単位：千円	2012年9月期 第1四半期		2013年9月期 第1四半期		増減		(注) 売上高はセグメント間取引を含む。	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	主な連結会社	
1	投資銀行事業	72,078	△9,455	16,995	△16,468	△55,083	△7,013	フィンテックグローバル証券 (FGS)
2	アセットマネジメント事業	73,388	△69,527	49,416	4,695	△23,972	74,222	フィンテックアセットマネジメント (FAM) FGIキャピタル・パートナーズ (FGICP)
3	プリンシパル インベストメント事業	443,348	74,695	10,734	8,887	△432,614	△65,807	フィンテックグローバル (FGI)
4	その他投資先事業	122,197	△35,958	124,226	△42,149	2,029	△6,190	ベルス、Crane Reinsurance
5	公共財関連事業	45,206	△41,582	45,185	△3,536	△20	38,045	パブリック・マネジメント・ コンサルティング (PMC)
	合計	756,220	△81,829	246,558	△48,572	△509,661	33,256	
	調整額	△34,350	△52,402	△3,143	△201,089	31,206	△148,687	
	連結P L計上額	721,870	△134,231	243,415	△249,662	△478,455	△115,430	

1 開発型流動化、再生可能エネルギー関連等のアレンジ受託に注力し、案件組成への取組みを継続。収益の中心は事業再生案件等のアレンジ・FA業務の手数料収入となる。

2 FAMは、新規不動産AM案件獲得により受託資産残高を着実に増加させました。また、中堅老舗企業の事業承継において、LBOファイナンスを使って、外部投資家とFGIグループの資金によりファンドのGPとして共同投資を実行。FGICPはAIJ問題の影響を受け、依然として独立系運用会社への逆風が強く、年金基金等は新規投資に慎重であることからAUMの積増しに至らず。

3 FGIは、FAM組成ファンドやスマートフォン用アプリ開発のベンチャー企業へ新規投資。大型の企業投資案件の回収は、当第1四半期では見送り。第2四半期以降で引続き検討。

4 ベルスは持家サービス部門のイベントやキャンペーンの効果、賃貸サービス部門が注力してきた個人賃貸支援サービスの反響が出始め堅調な業績を維持。Craneは、当四半期において勘定書の交付はなく、前期までに交付された勘定書により当四半期に対応する経過保険料、保険金支払及び経費を計上。Craneは、2013年1月4日にHardy Underwriting Limited等から再保険契約に基づき1,455百万円の支払を求める仲裁の申立てを受ける。Craneはその請求内容の妥当性を裏付ける説明やデータを要請し、正当な支払義務の発生する金額の認定を仲裁手続において主張していく方針。なお、当該請求が全額容認された場合の損失は、前期までの連結決算に計上済。

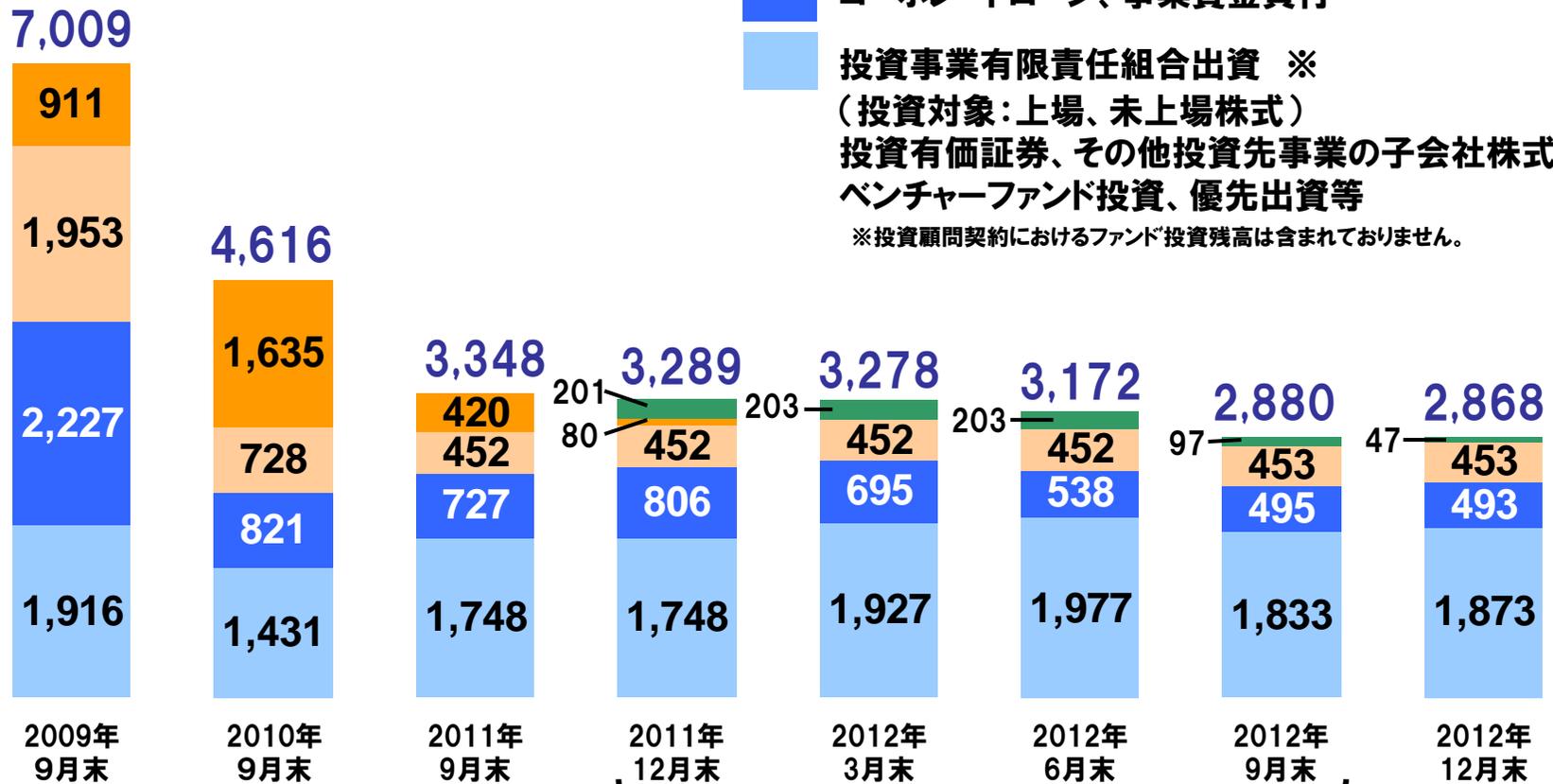
5 PMCは、2012年12月12日に(株)システム ディに自治体向け公会計パッケージソフトの開発・販売等に係る事業を一部譲渡するとともに、公会計システムに関するロイヤルティに係る一部収益を受け取り、連携して営業展開を図る業務提携を締結。課題であったソフトウェアに係る開発・保守の効率化に目処をたて、主力である公会計導入コンサルティング事業に注力するとともに、(株)システム ディから公会計システムを購入し販売することによる収入で当期黒字化の見込。

プリンシパルインベストメントのポートフォリオの推移

(単位：百万円、全額引当の債権を除く金額)

当第1四半期よりベンチャーファンドのFINTECH GIMV FUND (FGF) を連結から除外しております。情報の連続性を保つため、前期以前についても、FGFを連結から除外したものと表示しております。

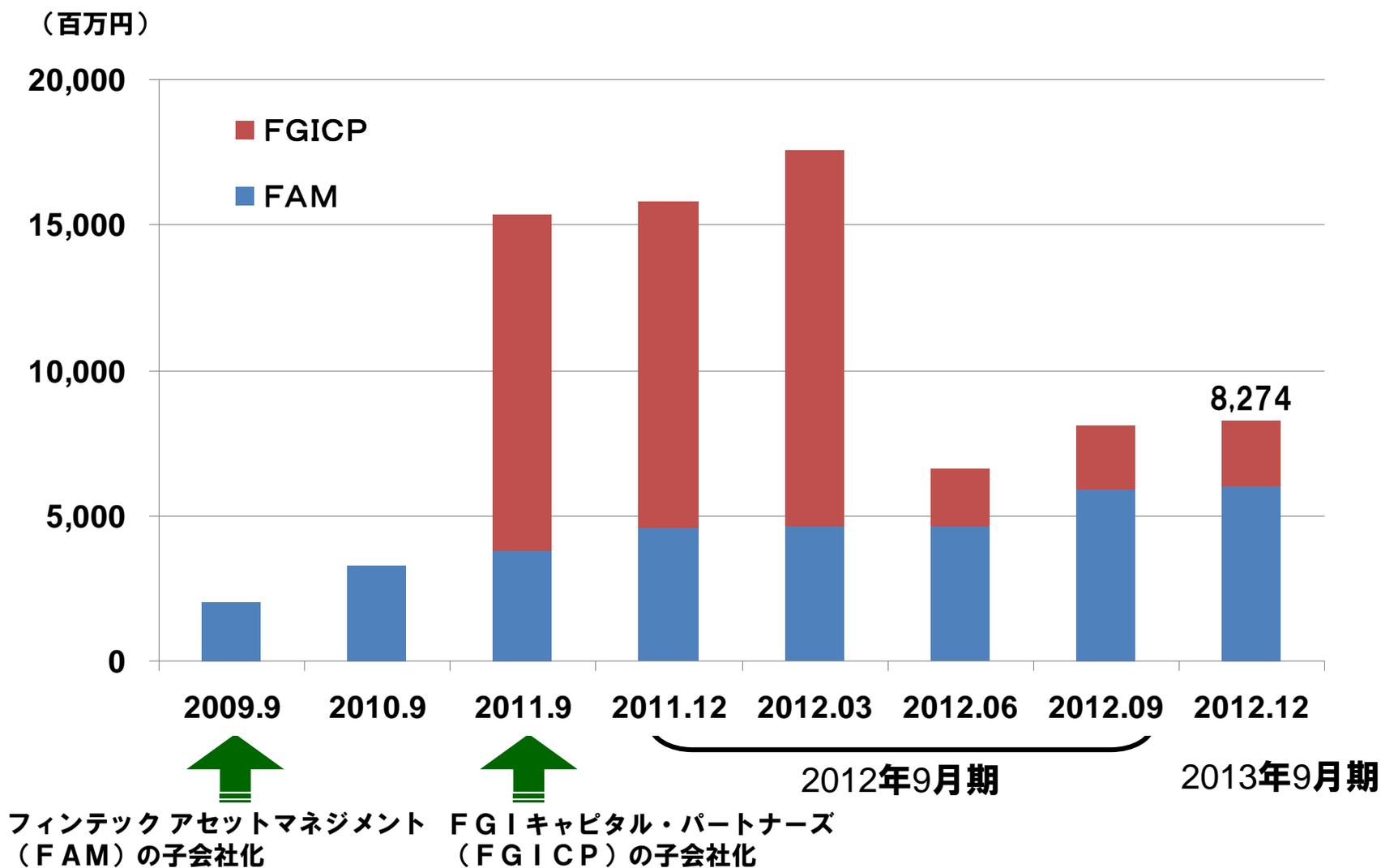
- オルタナティブファンドへの投資(当社グループが運用)
 - 販売用不動産(証券化商品含む)
 - 不動産投資案件向け貸付、出資
 - コーポレートローン、事業資金貸付
 - 投資事業有限責任組合出資 ※
(投資対象: 上場、未上場株式)
投資有価証券、その他投資先事業の子会社株式等
ベンチャーファンド投資、優先出資等
- ※投資顧問契約におけるファンド投資残高は含まれておりません。



2012年9月期

2013年9月期

アセットマネジメント事業の受託資産残高(AUM)の推移



【当社が出資するFINTECH GIMV FUNDの資産額(2012年9月末純資産28百万ドル)は含んでおりません】

連結貸借対照表

資産の部

	12年9月期	13年9月期 第1四半期	増減
流動資産	5,722,554	4,549,117	△ 1,173,437
1 現金及び預金	2,522,754	1,917,012	△ 605,742
売掛金	132,127	149,247	17,119
1 営業投資有価証券	2,400,089	1,900,683	△ 499,406
繰延税金資産	7,089	8,763	1,674
営業貸付金	2,480,482	2,473,700	△ 6,782
その他	205,914	118,708	△ 87,205
貸倒引当金	△ 2,025,903	△ 2,018,998	6,904
固定資産	695,386	640,967	△ 54,419
有形固定資産	151,253	145,519	△ 5,733
無形固定資産	280,177	237,478	△ 42,699
投資その他の資産	263,955	257,969	△ 5,986
資産合計	6,417,941	5,190,084	△ 1,227,856

1 主にFGFの連結除外による減少

2 FGFの連結除外による為替換算調整勘定のマイナスの解消

3 FGFの連結除外による少数株主持分の減少

負債の部

(単位: 千円)

	12年9月期	13年9月期 第1四半期	増減
流動負債	807,893	877,295	69,402
短期借入金	40,000	40,000	0
預り金	474,164	484,007	9,843
未払金	136,695	178,191	41,495
その他	157,033	175,096	18,063
固定負債	1,977,386	1,968,828	△ 8,557
社債	56,000	56,000	0
保険契約準備金	1,648,449	1,677,919	29,469
その他	272,936	234,909	△ 38,027
負債合計	2,785,279	2,846,124	60,844

純資産の部

株主資本	2,543,061	2,297,695	△ 245,365
資本金	2,312,517	2,312,517	0
資本剰余金	5,183	5,183	0
利益剰余金	277,772	32,407	△ 245,365
自己株式	△ 52,412	△ 52,412	0
その他の包括利益累計額	△ 180,749	△ 345	180,403
その他有価証券評価差額金	△ 2,333	△ 345	1,987
2 為替換算調整勘定	△ 178,416	—	178,416
新株予約権	18,005	18,055	50
3 少数株主持分	1,252,344	28,554	△ 1,223,789
純資産合計	3,632,661	2,343,960	△ 1,288,701
負債純資産合計	6,417,941	5,190,084	△ 1,227,856

連結損益計算書

	2012年9月期 第1四半期	2013年9月期 第1四半期	(単位: 千円) 増減
売上高	721,870	243,415	△ 478,455
売上原価	403,040	34,942	△ 368,097
売上総利益	318,830	208,472	△ 110,357
販売費及び一般管理費	453,061	458,134	5,072
営業損失(△)	△ 134,231	△ 249,662	△ 115,430
営業外収益	4,054	1 32,503	28,449
営業外費用	4,498	295	△ 4,203
経常損失(△)	△ 134,674	△ 217,453	△ 82,778
特別利益	866	2 68,062	67,195
特別損失	8,364	767	△ 7,597
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 142,173	△ 150,158	△ 7,985
法人税等	3,673	△ 2,237	△ 5,910
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 145,846	△ 147,921	△ 2,074
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3 △ 15,917	651	16,568
四半期純損失(△)	△ 129,929	△ 148,572	△ 18,643

1 為替差益28百万円の計上

2 (株)パブリック・マネジメント・コンサルティングの事業譲渡益66百万円

3 FINTECH GIMV FUNDの連結除外により、少数株主利益(又は少数株主損失)の影響が減少

参考資料

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- 連結業績推移（6期分）
- 子会社単体業績の推移

個別貸借対照表

(単位: 千円)

資産の部			
	12年9月期	13年9月期 第1四半期	増減
流動資産	1,993,193	2,684,975	691,782
現金及び預金	557,319	283,498	△ 273,820
売掛金	6,090	6,690	600
営業投資有価証券	846,977	1,866,847	1,019,870
営業貸付金	2,496,441	2,489,659	△ 6,782
短期貸付金	67,527	17,441	△ 50,086
未収入金	136	1,907	1,771
その他	46,828	37,676	△ 9,151
貸倒引当金	△ 2,028,127	△ 2,018,745	9,381
固定資産	2,487,118	1,447,359	△ 1,039,759
有形固定資産	137,500	132,869	△ 4,631
無形固定資産	5,838	4,904	△ 933
投資その他の資産	2,343,780	1,309,585	△ 1,034,194
資産合計	4,480,312	4,132,335	△ 347,977

負債の部			
	12年9月期	13年9月期 第1四半期	増減
流動負債	1,731,948	1,678,232	△ 53,715
短期借入金	1,219,684	1,108,384	△ 111,300
未払金	28,636	77,966	49,330
預り金	454,880	468,939	14,058
その他	28,746	22,941	△ 5,804
固定負債	74,716	62,313	△ 12,403
退職給付引当金	28,394	31,201	2,806
その他	46,322	31,112	△ 15,210
負債合計	1,806,665	1,740,546	△ 66,118

純資産の部

株主資本	2,655,642	2,374,079	△ 281,562
資本金	2,312,517	2,312,517	0
資本剰余金	14	14	0
利益剰余金	343,109	61,546	△ 281,562
評価・換算差額等	—	△ 345	△ 345
新株予約権	18,005	18,055	50
純資産合計	2,673,647	2,391,789	△ 281,858
負債純資産合計	4,480,312	4,132,335	△ 347,977

個別損益計算書

(単位: 千円)

	2012年9月期 第1四半期	2013年9月期 第1四半期	増減
売上高	345,502	67,040	△ 278,461
売上原価	205,693	1,741	△ 203,951
売上総利益	139,808	65,299	△ 74,509
販売費及び一般管理費	151,155	232,073	80,917
営業損失(△)	△ 11,346	△ 166,774	△ 155,427
営業外収益	3,266	6,302	3,035
営業外費用	537	983	446
経常損失(△)	△ 8,617	△ 161,455	△ 152,838
特別利益	866	1,707	840
特別損失	8,214	587	△ 7,627
税引前四半期純損失(△)	△ 15,965	△ 160,336	△ 144,370
法人税等	302	302	0
四半期純損失(△)	△ 16,268	△ 160,638	△ 144,370

連結業績の推移

決算年月		2008年 9月期	2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年 9月期	2013年9月期 第1四半期
売上高	(百万円)	14,165	10,385	3,465	6,988	2,038	243
売上総利益	(百万円)	8,314	△ 7,326	935	3,509	908	208
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	△ 9,114	△ 21,197	△ 2,604	1,220	△ 915	△ 217
当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	△ 7,160	△ 12,091	△ 2,172	1,404	△ 1,274	△ 148
純資産額	(百万円)	17,426	5,447	3,164	4,870	3,632	2,343
総資産額	(百万円)	79,021	15,766	7,352	7,682	6,417	5,190
1株当たり純資産額	(円)	13,911.77	3,851.31	2,024.72	3,152.33	1,981.69	1,927.56
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	(円)	△ 5,937.48	△ 10,008.43	△ 1,798.88	1,168.69	△ 1,069.83	△ 124.66
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	(円)	—	—	—	1,168.05	—	—
自己資本比率	(%)	21.3	29.5	33.3	48.9	36.8	44.3
自己資本利益率	(%)	△ 34.2	△ 112.7	△ 61.2	45.3	△ 41.7	—
株価収益率	(倍)	—	—	—	2.57	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	13,155	8,333	626	1,953	959	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 12,099	7,687	△ 2,281	△ 631	80	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 6,743	△ 19,674	△ 3,376	△ 413	△ 233	—
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	9,500	5,811	829	1,711	2,522	—
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	112(7)	117(16)	72(13)	70(17)	60(19)	61(16)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	83(5)	50(5)	40(2)	15(2)	20(3)	27(4)

子会社単体業績の推移

単位：百万円

フィンテック グローバル証券	2011年9月期			2012年9月期			2013年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	309	138	448	119	45	165	15
売上総利益	306	138	445	119	45	165	15
経常利益	150	△56	93	△42	△66	△109	△17

フィンテック アセット マネジメント	2011年9月期			2012年9月期			2013年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	178	166	344	54	82	136	39
売上総利益	178	119	297	54	81	135	39
経常利益	19	△27	△8	△16	△4	△21	△1

FGIキャピタル・ パートナーズ	2011年9月期 (2011年5月～9月) (注)	2012年9月期			2013年 9月期
		上半期	下半期	通期	1Q
売上高	110	70	19	90	10
売上総利益	110	70	19	90	10
経常利益	△32	△118	△38	△156	△6

(注) 2011年5月より連結業績に取り込んでおります。

パブリック・ マネジメント・ コンサルティング	2011年9月期			2012年9月期			2013年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	122	85	208	118	89	208	45
売上総利益	57	21	79	27	24	51	22
経常利益	1	△46	△44	△53	△53	△107	△3

ベルス	2011年9月期			2012年9月期			2013年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	244	274	518	253	302	555	123
売上総利益	190	232	423	212	261	474	103
経常利益	2	51	53	25	58	83	5

Crane Reinsurance	2011年9月期			2012年9月期			2013年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	618	789	1,408	—	—	—	—
売上総利益	134	18	153	7	△396	△388	5
経常利益	125	△15	110	8	△428	△420	△18

免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2013年9月期第1四半期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実(以下、「将来情報」ということがあります)の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付(または当該資料・文書に別途明示された日付)時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

